

～避難の判断と家庭の備蓄～



命を守る行動（避難）の心得

市から避難情報が出たら対象地区を確認し、避難が必要な場合は速やかに安全な場所へ移動しましょう。

また、指定避難所へ行くことだけが「避難」ではありません。安全な場所にある親族や知人の家など、いざという時にどこへ身を寄せるか、平時からご自身に合った避難先をイメージしておきましょう。



平成23年台風12号で学校の避難所へ避難する人々

避難先一覧
(市ホームページ)



～災害に備えて日頃からできること～

■非常用持ち出し袋の準備・確認 (→図①)

備蓄品は1日以上（できれば3日分）を非常用持ち出し袋に入れて準備してください。ご自身で必要な物を考えましょう。
(例：飲料水、食料、モバイルバッテリー、携帯トイレ、お薬(手帳)等)

図①



■備蓄の見直し (→図②)

ご家庭で備蓄の見直しを行いましょ。備蓄の方法として、ローリングストックという方法があります。ローリングストックとは、備蓄品を定期的に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法です。

※御坊市では、各家庭で7日分の備蓄を推奨しています。一人当たり、水(飲料水・調理用)が1日3ℓとして21ℓ、食料は1日3食で21食分が必要です。

図②



■トイレ

大規模災害発生時は断水や排水管の破損などによりトイレが使用できなくなる可能性がありますので、簡易トイレ等の備蓄を考えましょう。

○トイレの必要数(4人家族の場合)

1人1日5回×4人×7日分
= 最低140回分